

# 道内の感染状況等について (案)

【令和4年1月7日】

# 主な指標の状況

		移行指標				その他指標		
1/6	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	10万人当たり 療養者数	新規 感染者数 今週 先週比	感染経路 不明割合	PCR 陽性率
全道	1	4.5% (92床) ↑	0.0% (0床) →	3.9人/週 (204人/週) ↑	4.8人 (250人) ↑	1.41 ↑	33.8% ↑	2.2% ↑
	札幌市	6.1% (37床) ↓	0.0% (0床) →	5.6人/週 (109人/週) ↑	6.8人 (134人) ↓	1.14 ↑	38.5% ↑	2.2% ↑
	札幌市を 除く地域	3.9% (55床) ↑	0.0% (0床) →	2.9人/週 (95人/週) ↑	3.6人 (116人) ↑	1.94 ↑	28.4% ↓	2.2% ↑
レベル1 移行指標		—	—	散発的に発生	—			
レベル2 移行指標		20%	20%	15人/週	20人			

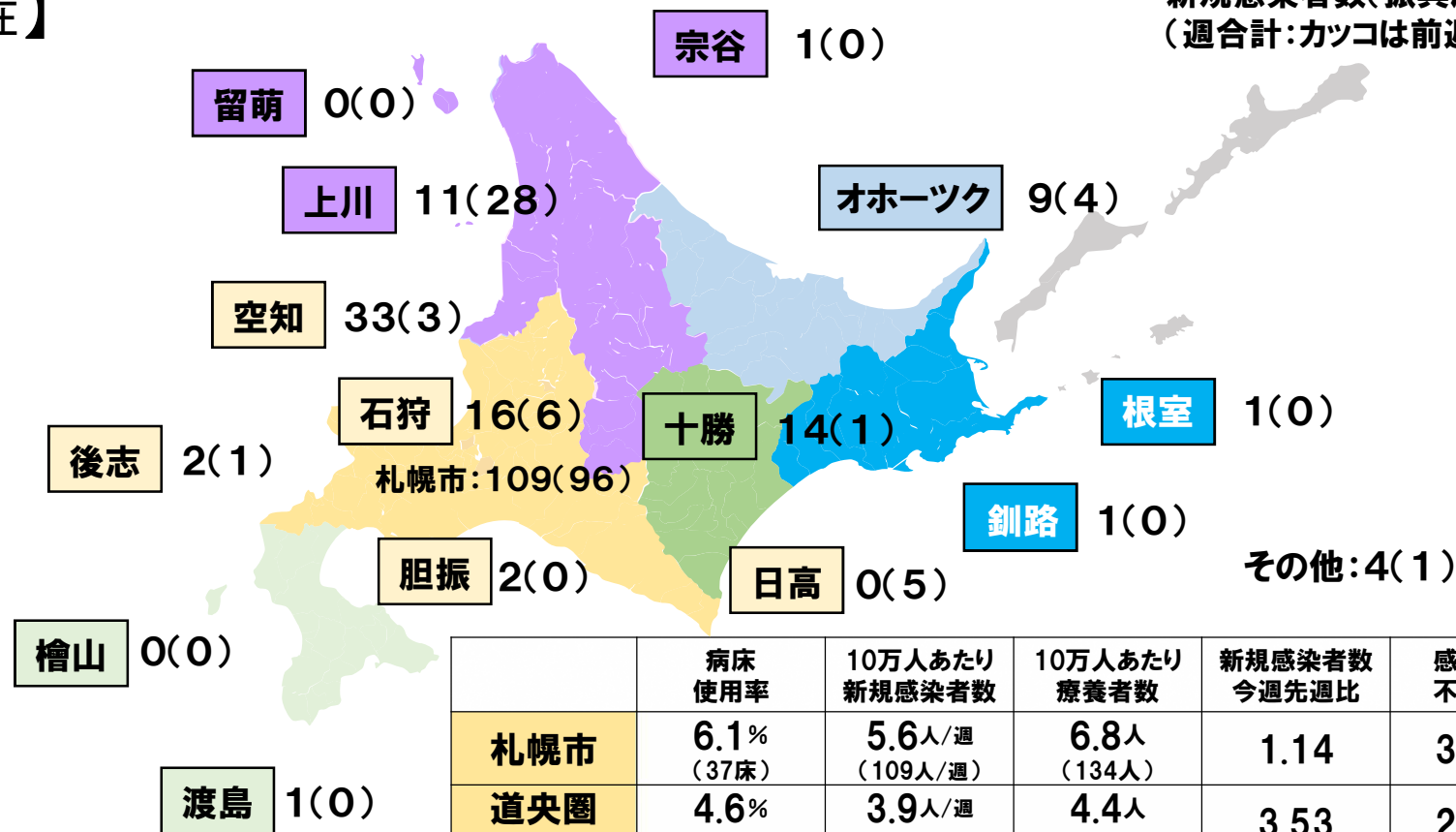
※( )は実数。 ※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較。

※年代別新規感染者数等の指標についても、別途モニタリングを実施するとともに、将来の病床数を予測するツールについては、今後、感染拡大局面における活用を検討。

# 地域における主な指標の状況

【1/6現在】

新規感染者数(振興局別)  
(週合計:カッコは前週の新規感染者数)



	病床 使用率	10万人あたり 新規感染者数	10万人あたり 療養者数	新規感染者数 今週先週比	感染経路 不明割合	PCR 陽性率
札幌市	6.1% (37床)	5.6人/週 (109人/週)	6.8人 (134人)	1.14	38.5%	2.2%
道央圏 (札幌市除く)	4.6% (21床)	3.9人/週 (53人/週)	4.4人 (59人)	3.53	24.5%	3.1%
道北圏	2.0% (6床)	2.0人/週 (12人/週)	4.2人 (25人)	0.43	25.0%	1.1%
道南圏	0.5% (1床)	0.2人/週 (1人/週)	0.2人 (1人)	—	100%	0.2%
十勝圏	8.1% (11床)	4.2人/週 (14人/週)	4.2人 (14人)	14.00	35.7%	10.8%
オホーツク圏	11.1% (13床)	3.3人/週 (9人/週)	4.7人 (13人)	2.25	11.1%	1.3%
釧路・ 根室圏	1.4% (3床)	0.7人/週 (2人/週)	1.3人 (4人)	—	0.0%	1.4%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

# 総 評

## 【医療提供体制】

- 療養者数、入院患者数は先週との比較で増加が続いているが、病床使用率は4.5%となっている。

## 【感染状況】

- 新規感染者数は23日連続で増加し、10万人あたり3.9人となった。感染経路不明割合や30代以下の新規感染者数も増加。
- 1月4日、道内で初めてオミクロン株の感染事例が発生し、1月7日には、複数の道立保健所管内で11例のオミクロン株感染事例が確認されており、この中には市中での感染が疑われる事例も認められる。

## 【今後の対策】

- 国内におけるオミクロン株の広がりや年末年始の人の移動の活発化の影響を踏まえると、道内でも今後の感染拡大が想定されることから、冬期間における感染拡大防止に向けて新年会や成人式などの場面における感染防止行動の実践等について呼びかける。
- 海外や道外に滞在歴のある患者及び感染経路不明の患者については、原則、すべての検体のゲノム解析を実施するとともに、デルタ株スクリーニング検査も併せて実施。また、国の取扱いに基づき、オミクロン株スクリーニング検査を速やかに実施できるよう準備を進める。
- 経口治療薬の提供の支援、無料検査の実施など必要な対応を進めるほか、国通知に基づき、オミクロン株による患者は症状に応じて入院や宿泊療養、自宅療養とするとともに、濃厚接触者は自宅療養とし、デルタ株と同様の取扱いとする。
- 国の動向等を注視し、医療従事者や高齢者等への接種の前倒しを含め、ワクチンの3回目接種の円滑な実施に向けた市町村支援に取り組む。

# 入院患者数と病床利用率（全道）

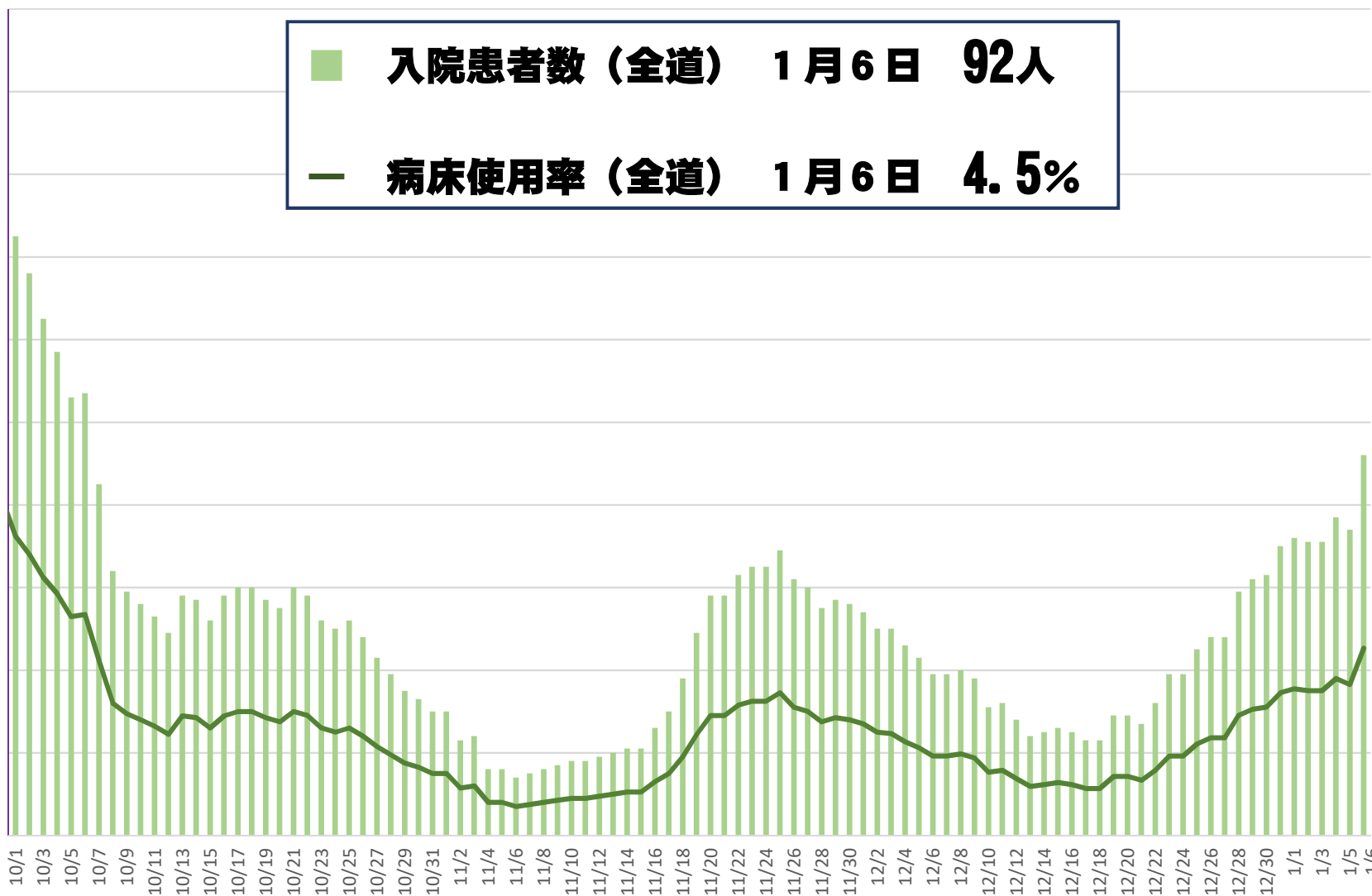
入院患者数（人）

病床利用率

200  
180  
160  
140  
120  
100  
80  
60  
40  
20  
0

20%  
18%  
16%  
14%  
12%  
10%  
8%  
6%  
4%  
2%  
0%

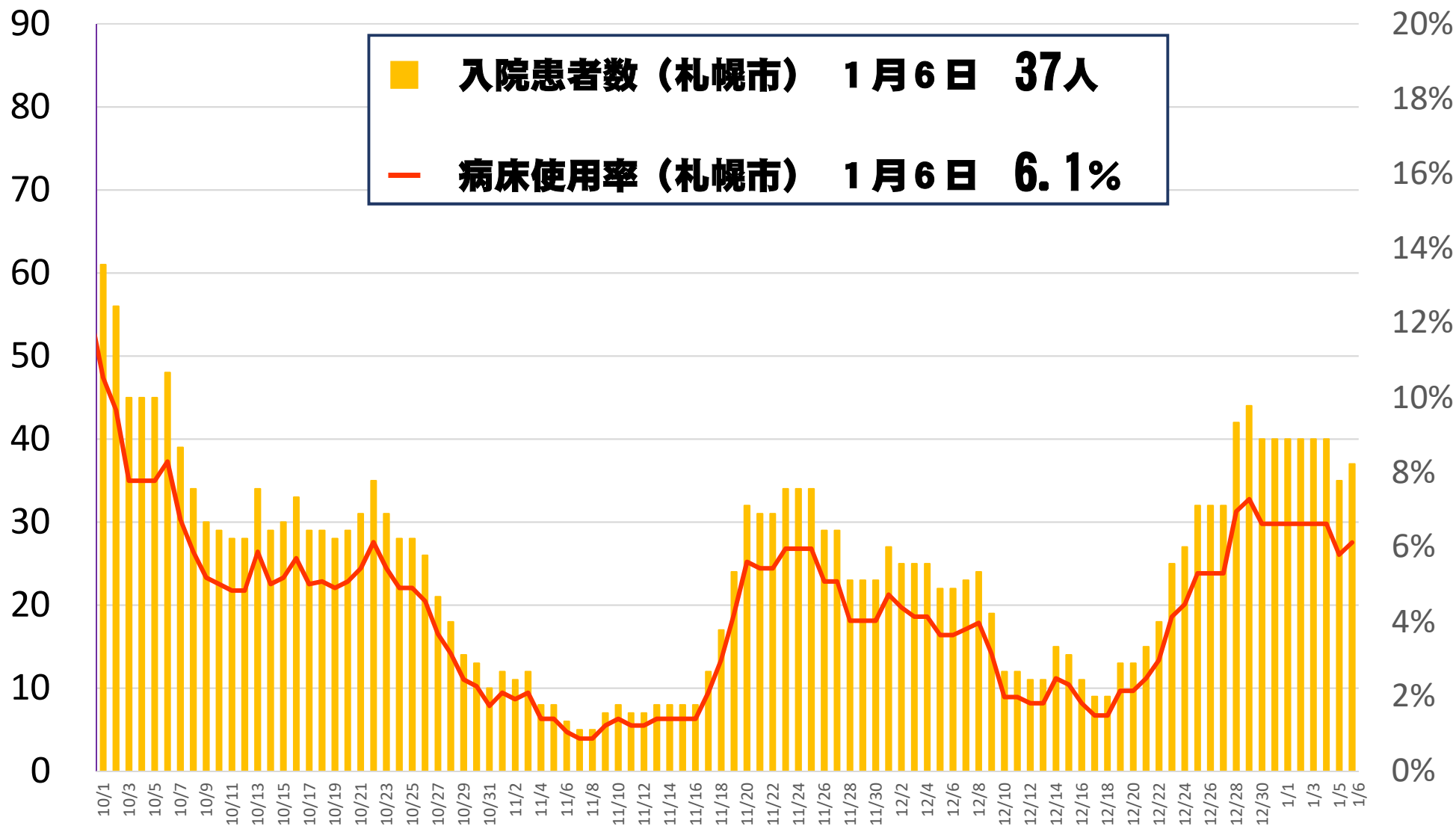
■ 入院患者数（全道） 1月6日 92人  
— 病床利用率（全道） 1月6日 4.5%



# 入院患者数と病床使用率（札幌市）

入院患者数（人）

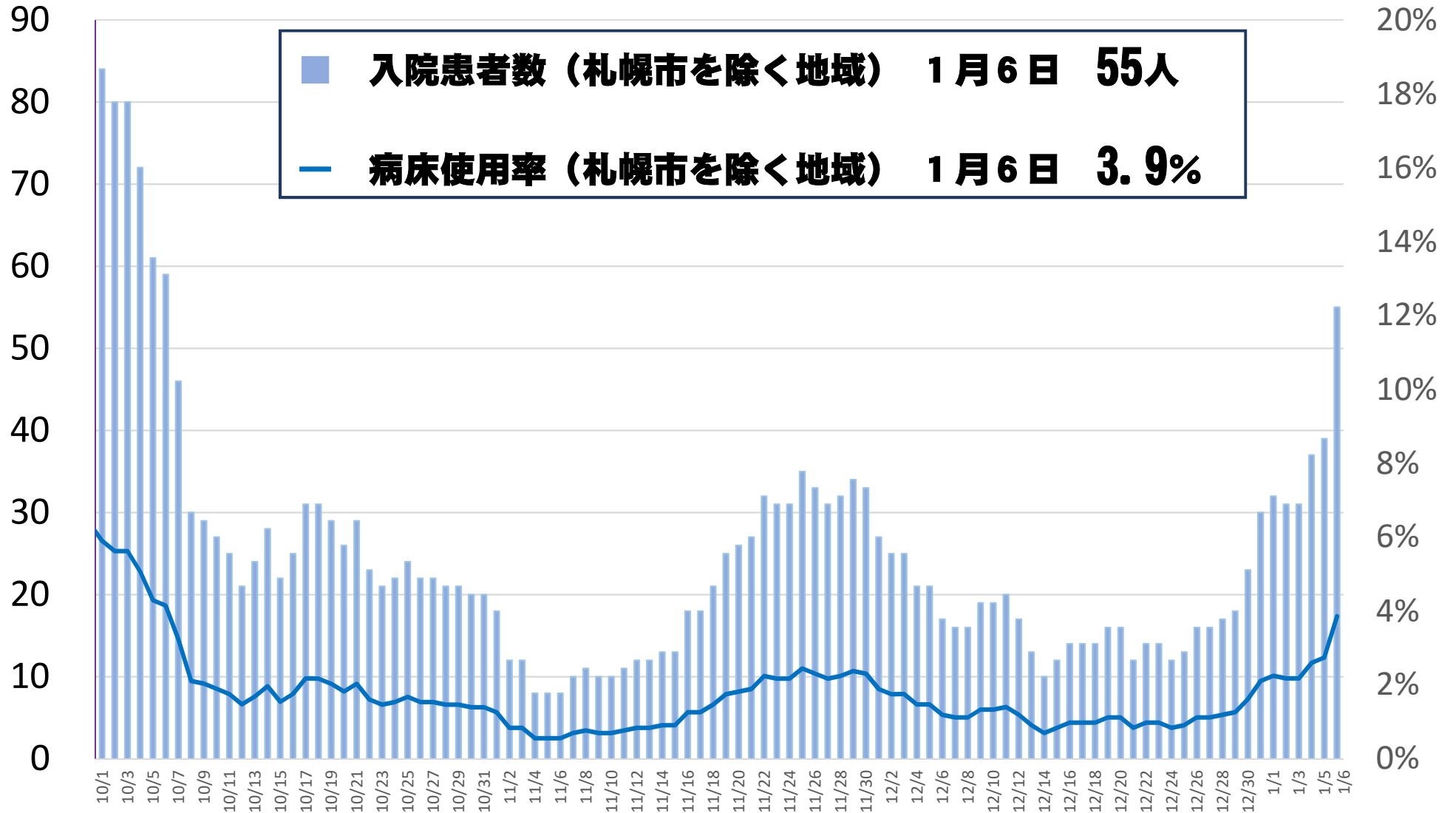
病床使用率



# 入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）

入院患者数（人）

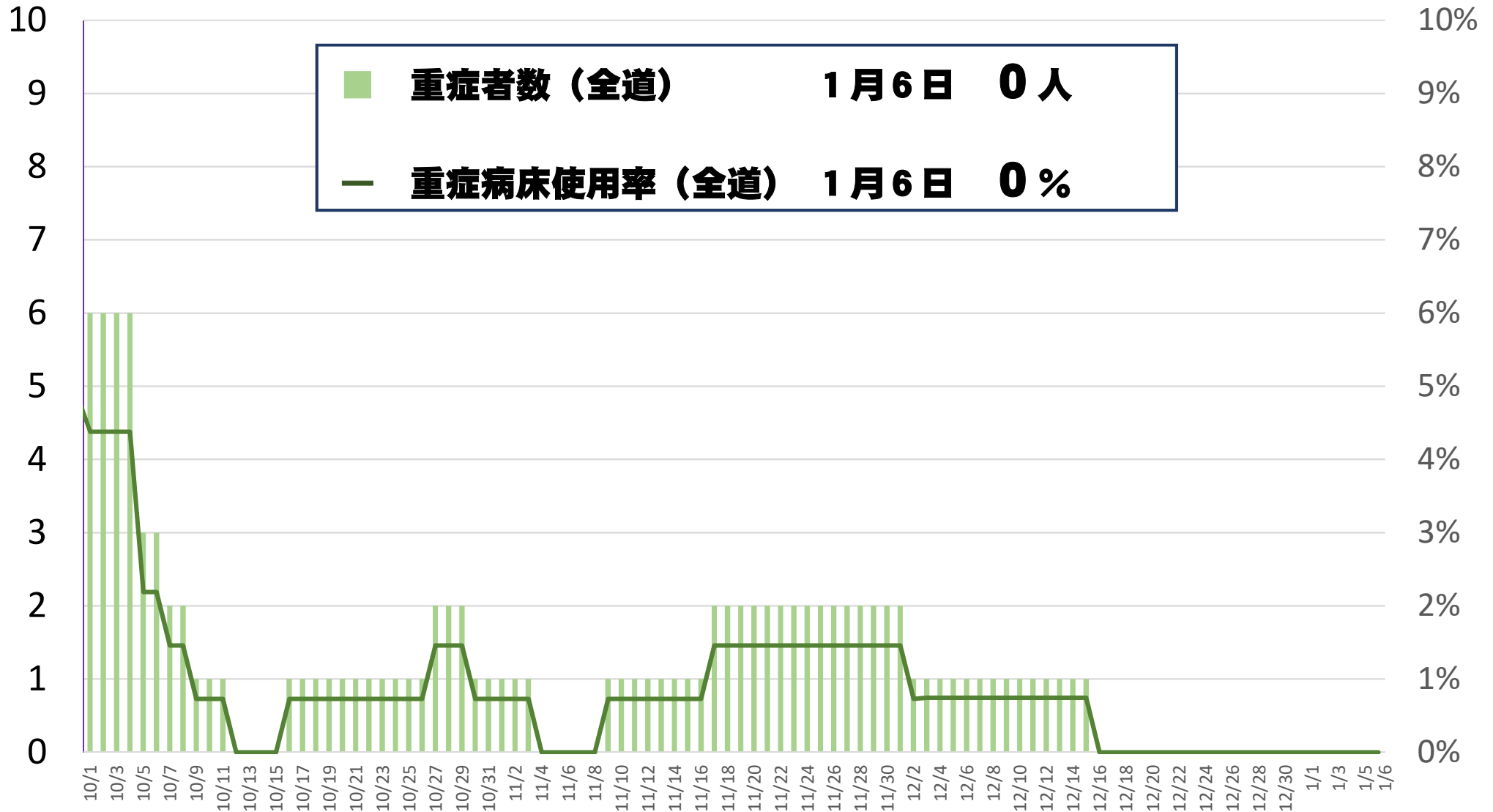
病床使用率



# 重症者数と重症病床使用率（全道）

重症者数（人）

病床使用率

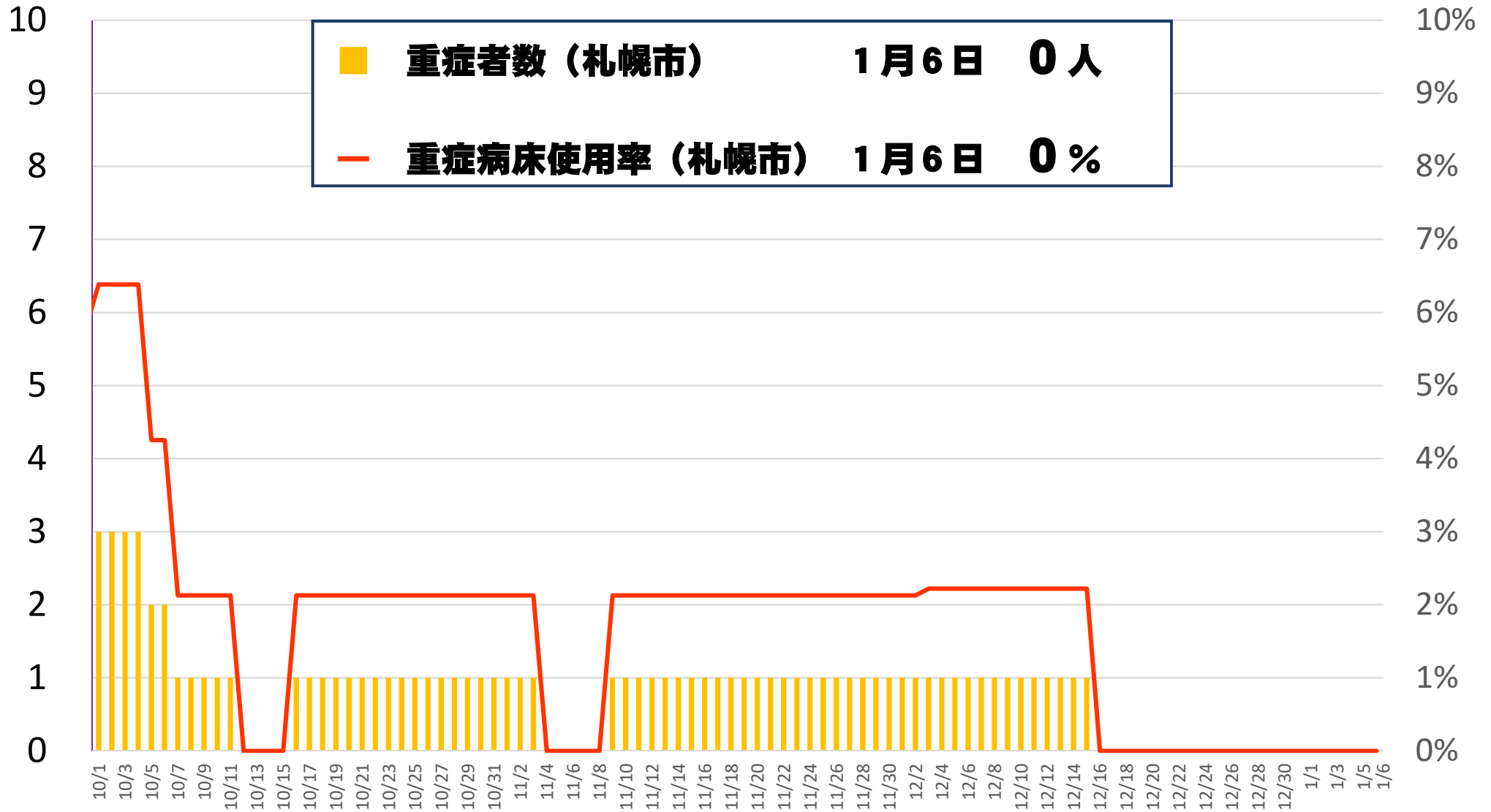




# 重症者数と重症病床使用率（札幌市）

重症者数（人）

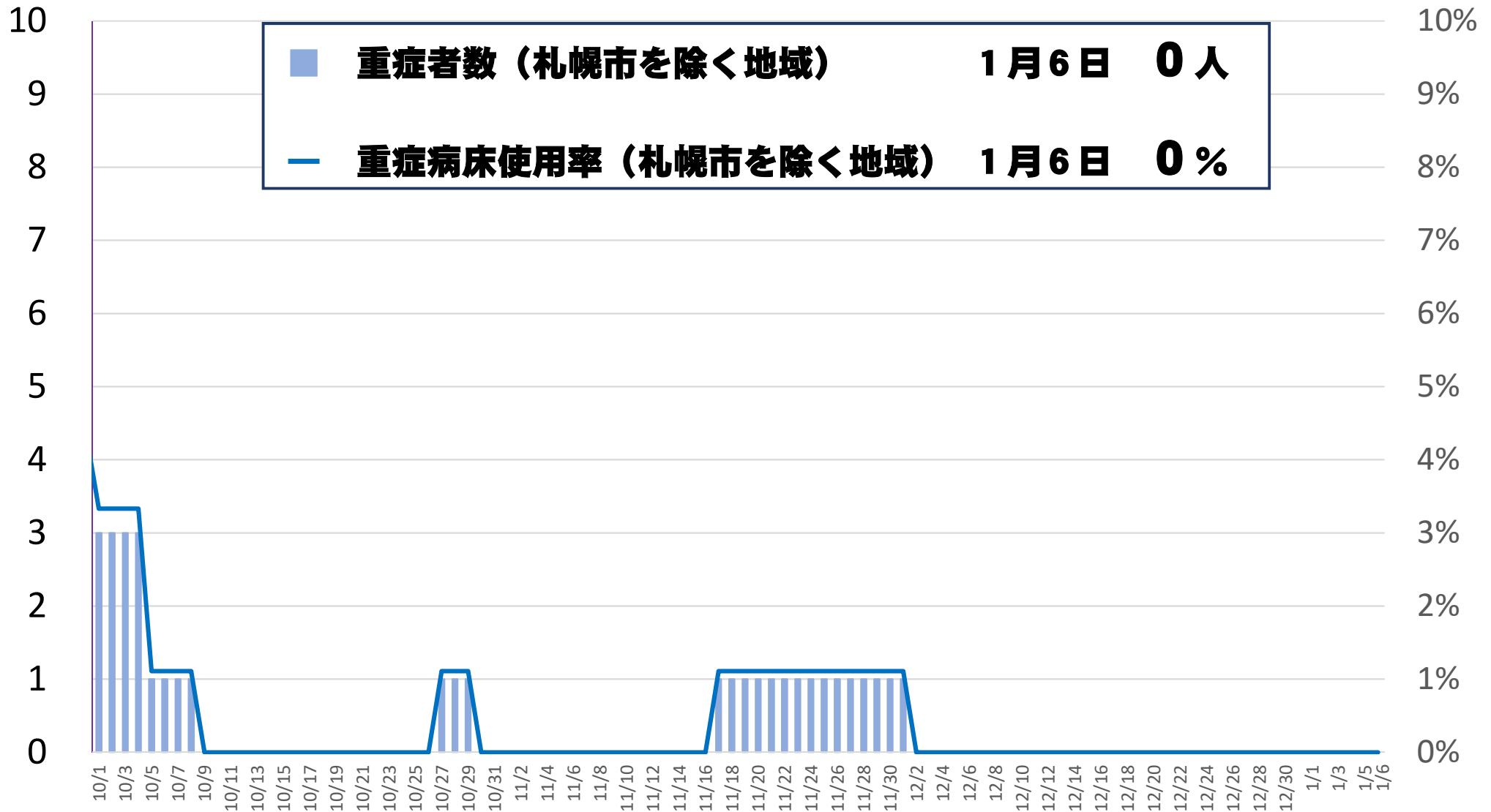
病床使用率



# 重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）

重症者数（人）

病床使用率



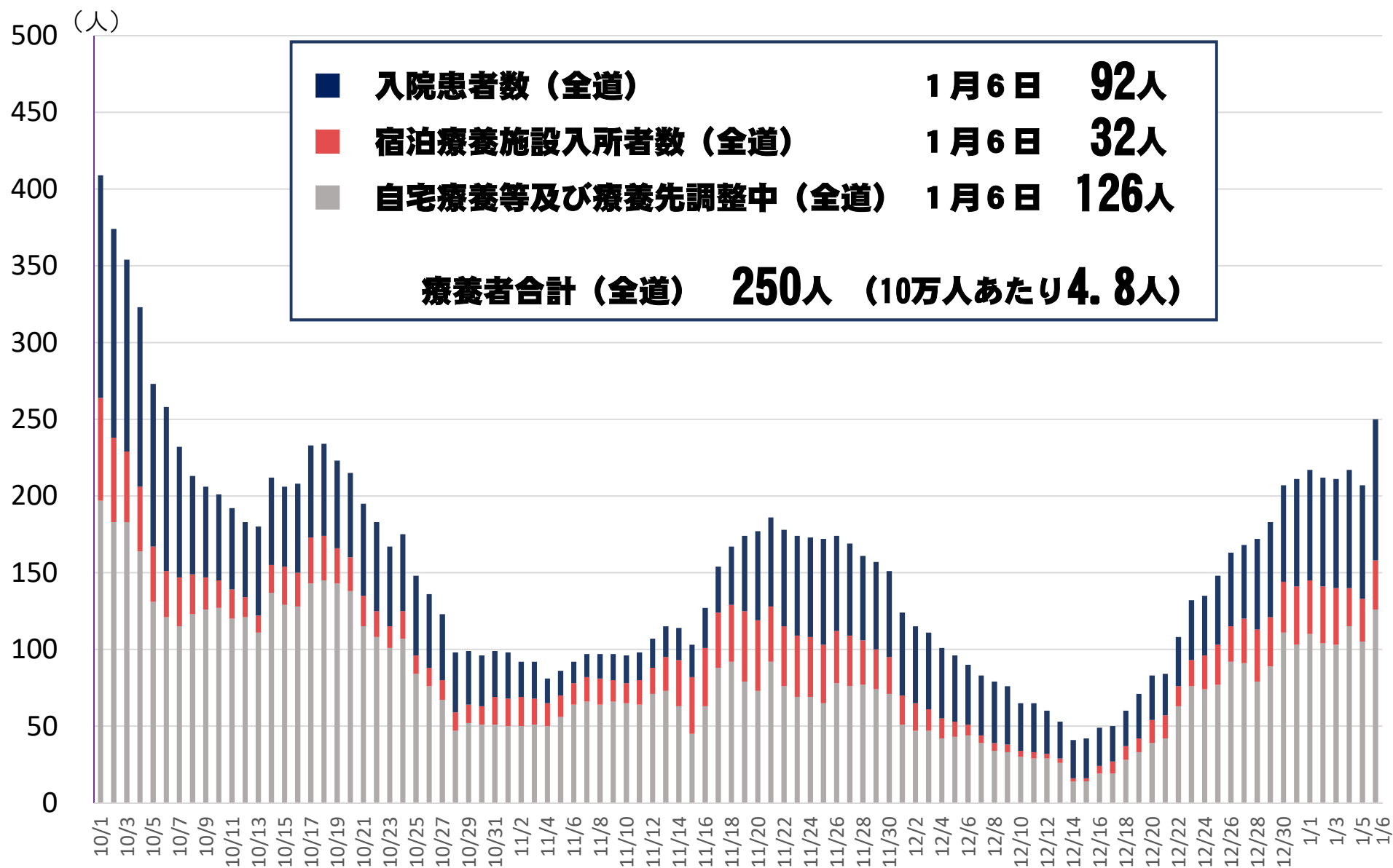
■ 重症者数（札幌市を除く地域）

1月6日 0人

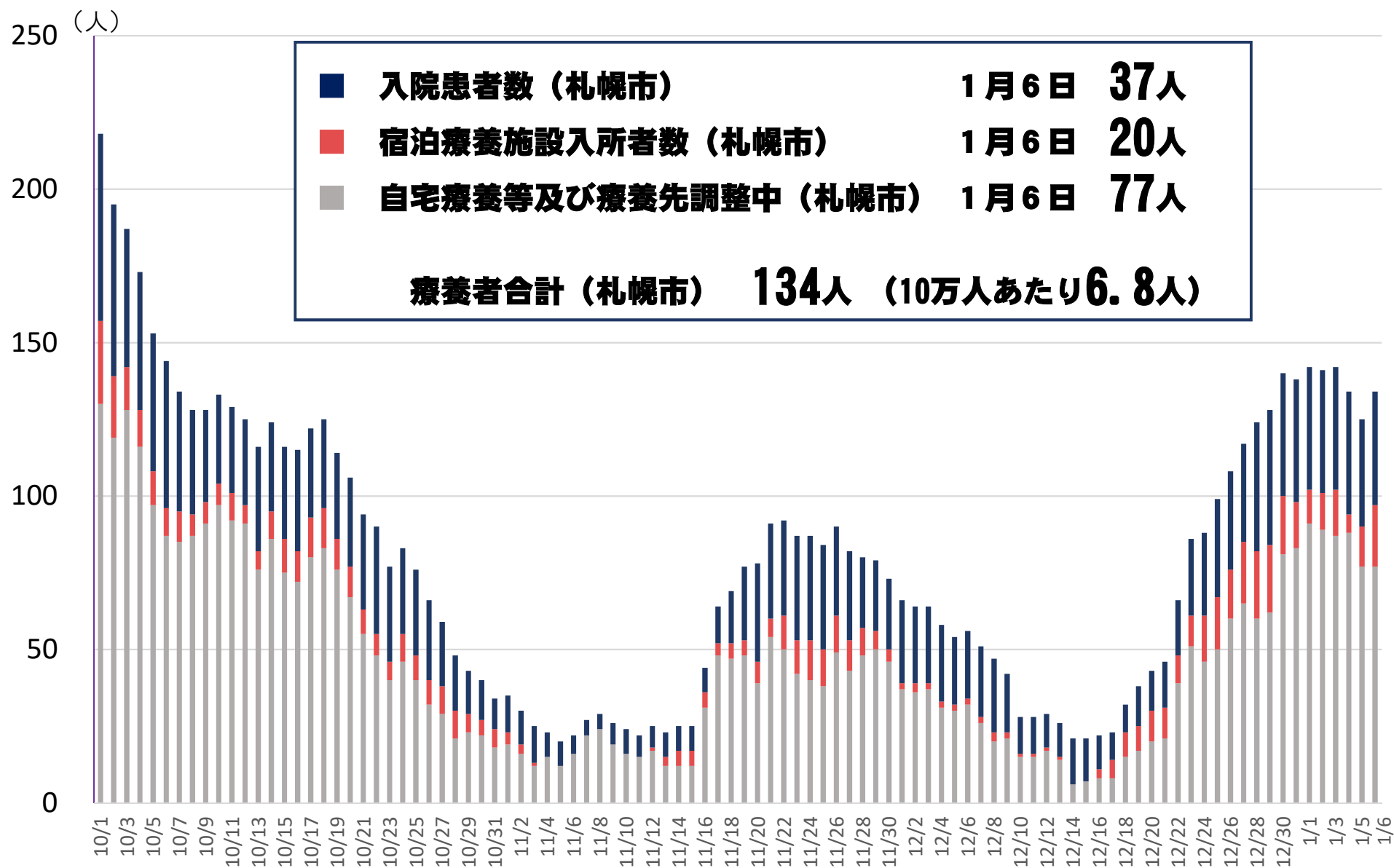
— 重症病床使用率（札幌市を除く地域）

1月6日 0%

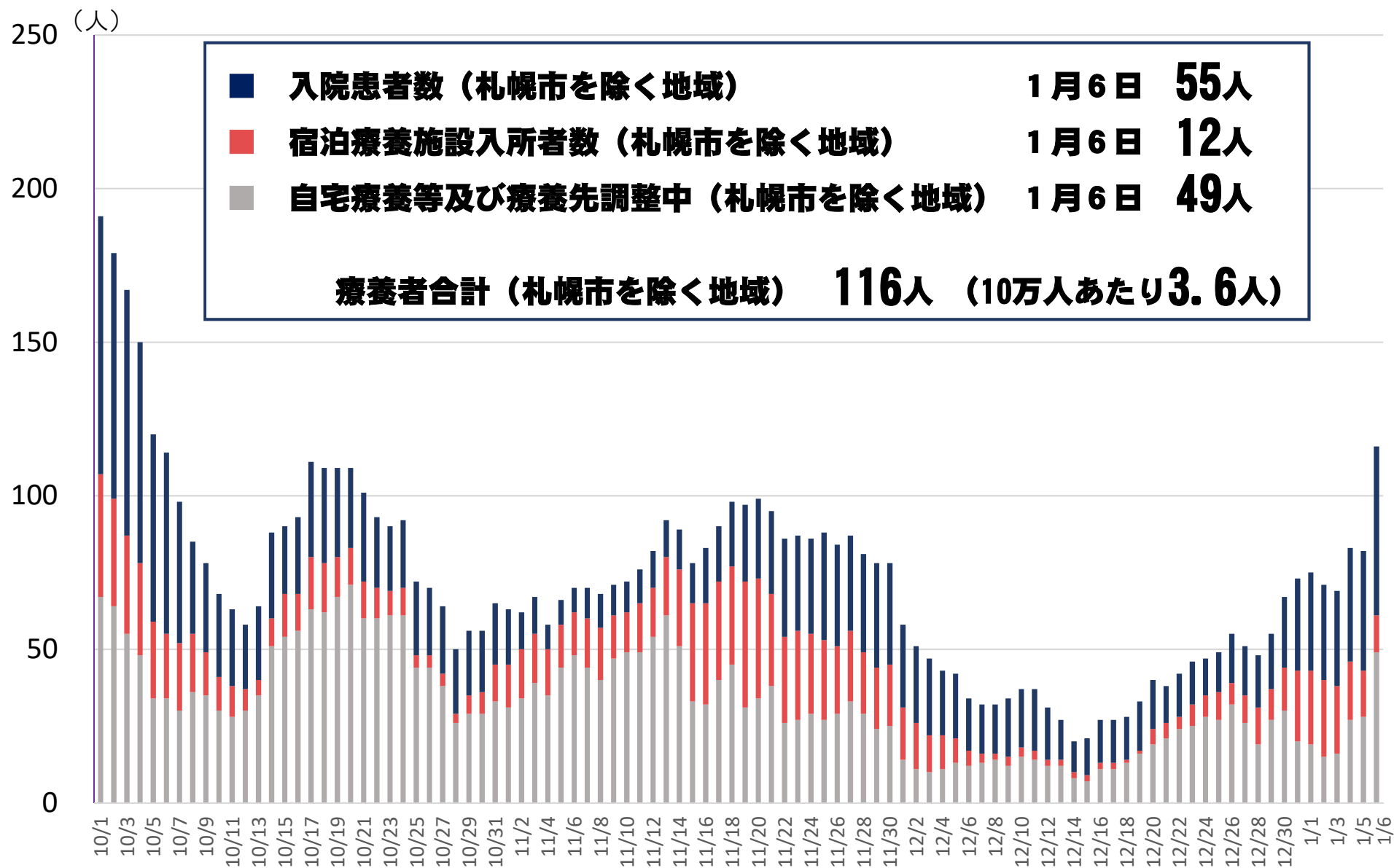
# 療養者数（全道）



# 療養者数（札幌市）



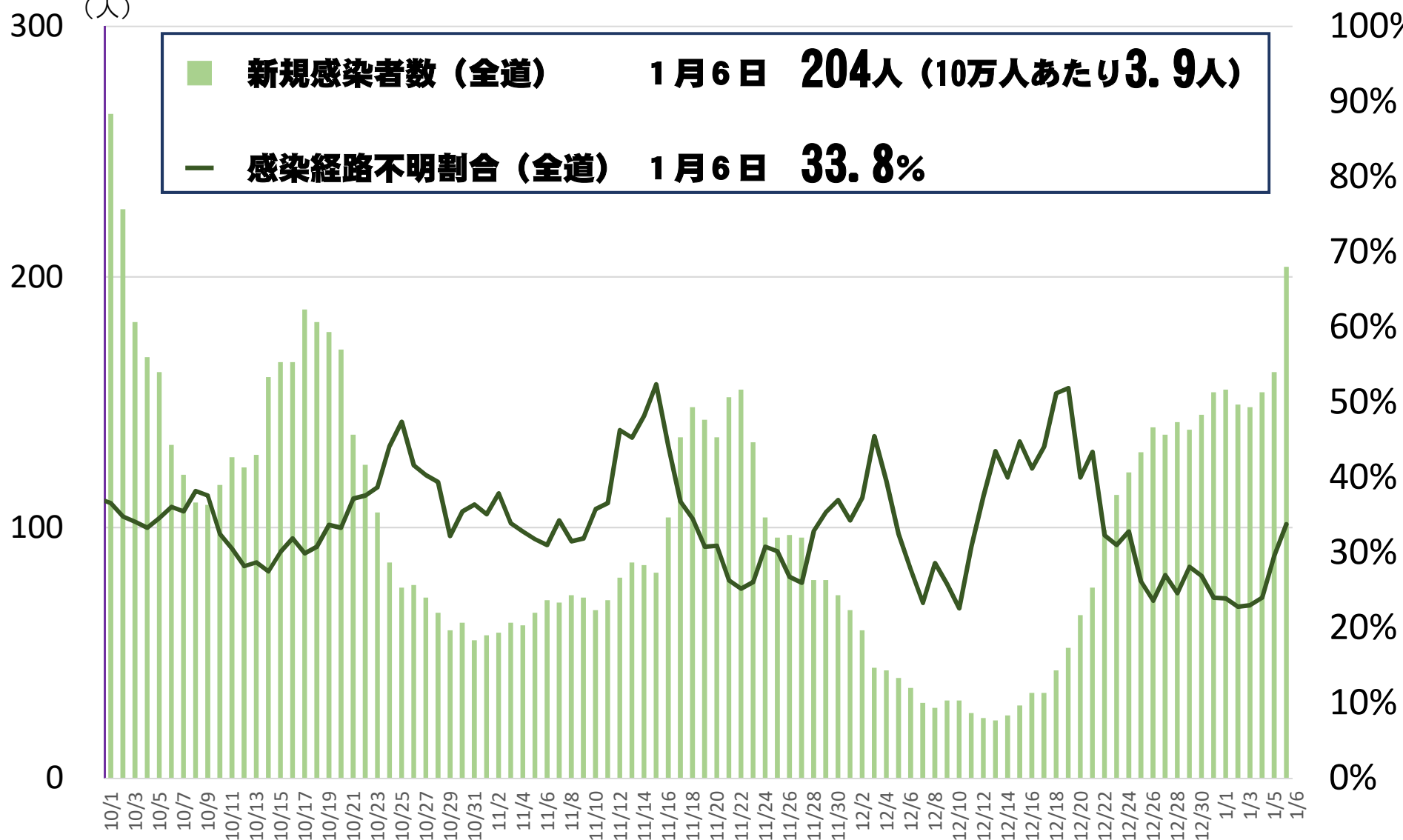
# 療養者数（札幌市を除く地域）



# 新規感染者数と感染経路不明割合（全道）

新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)

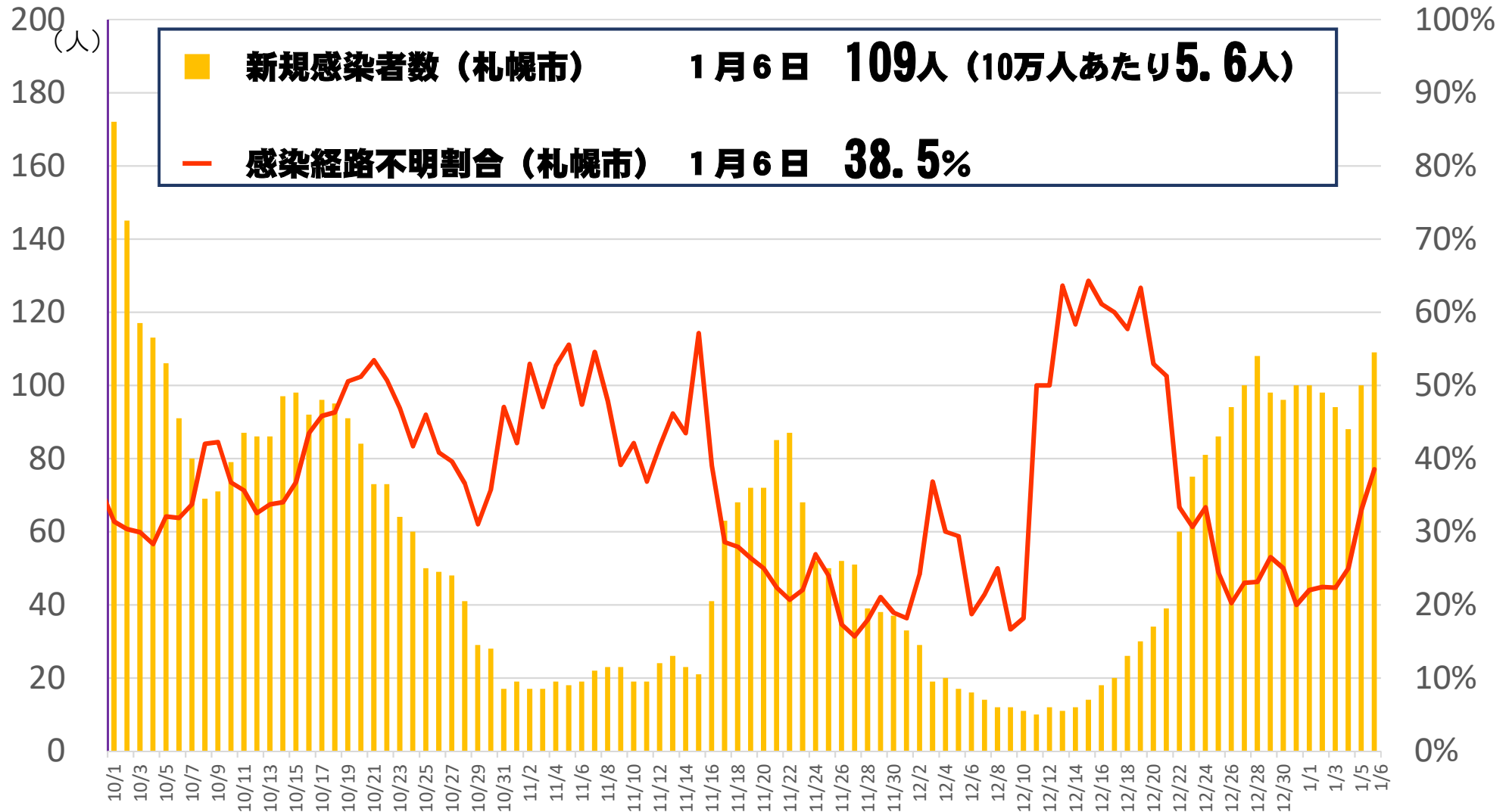
感染経路不明割合  
(7日間平均)



# 新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市）

新規感染者数  
(7日間合計)

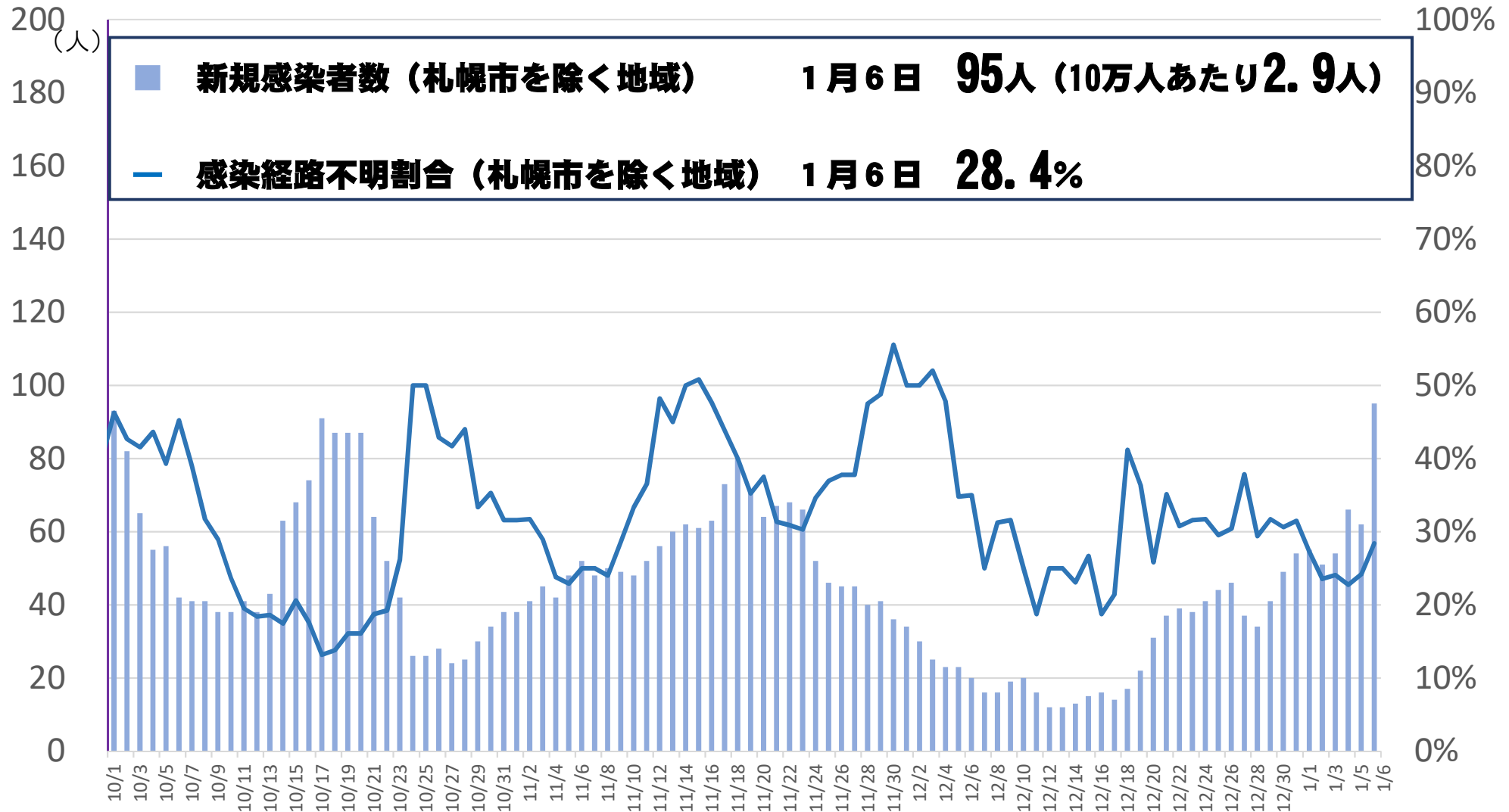
感染経路不明割合  
(7日間平均)



# 新規感染者数と感染経路不明割合（札幌市を除く地域）

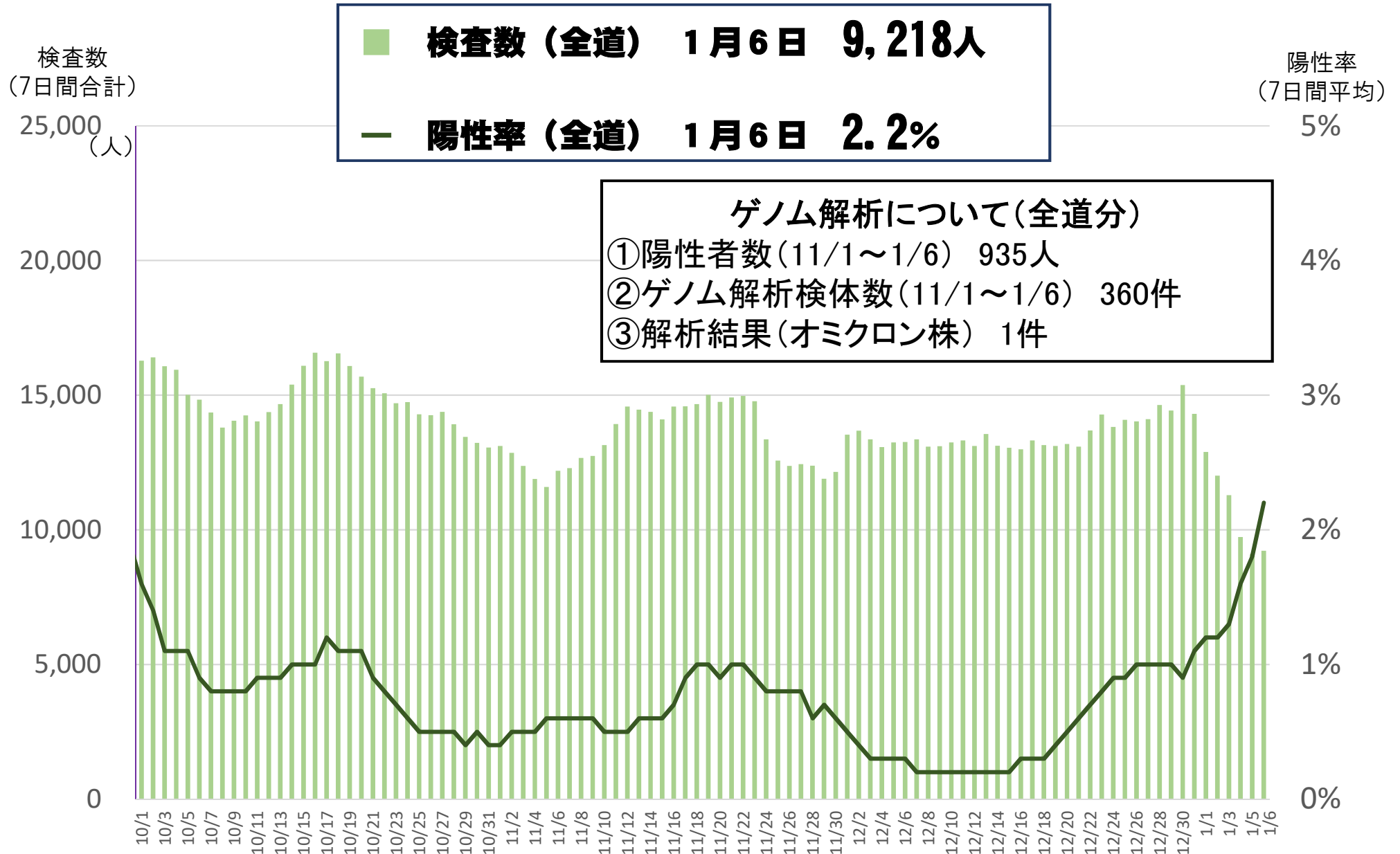
新規感染者数  
(7日間合計)

感染経路不明割合  
(7日間平均)

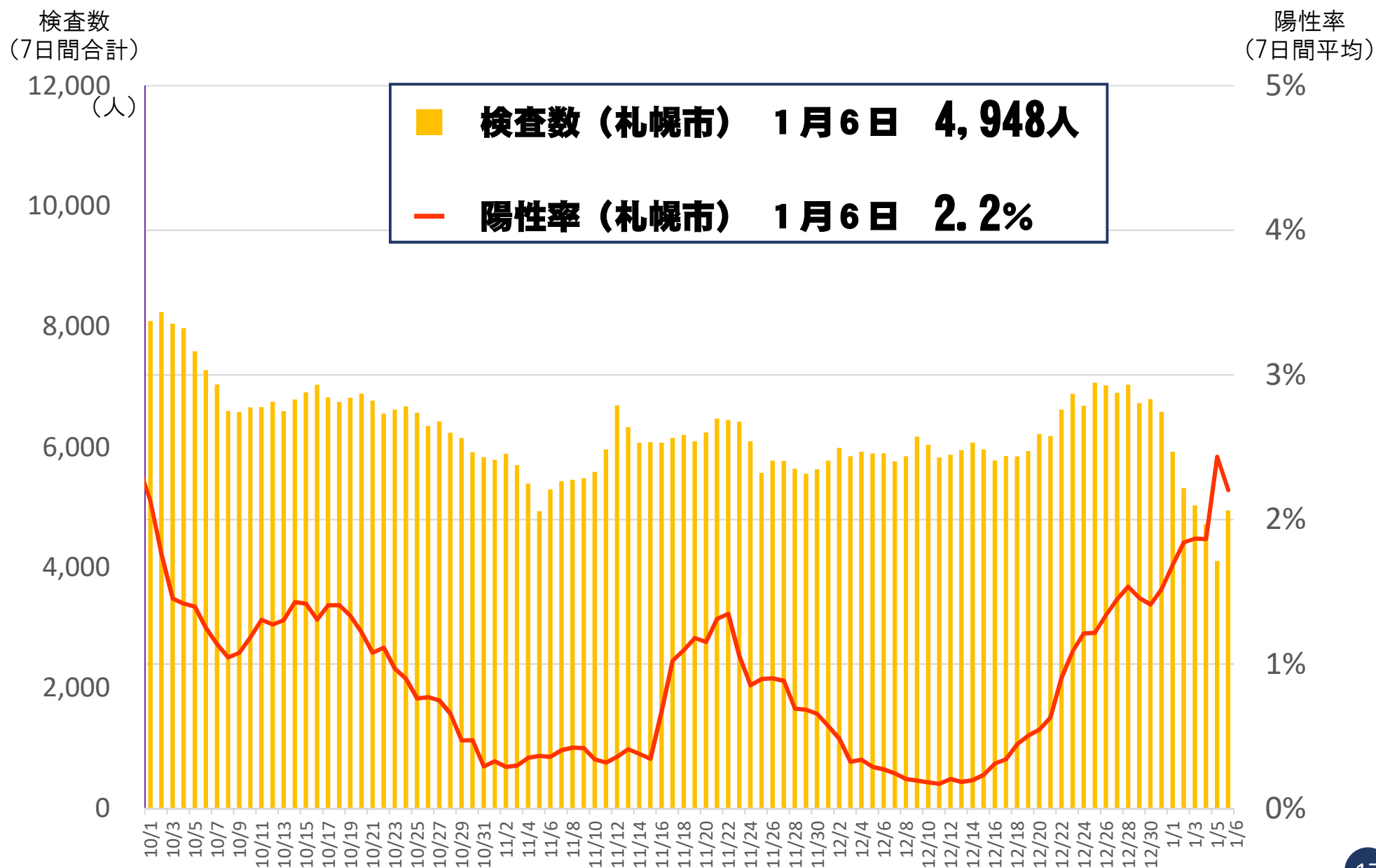




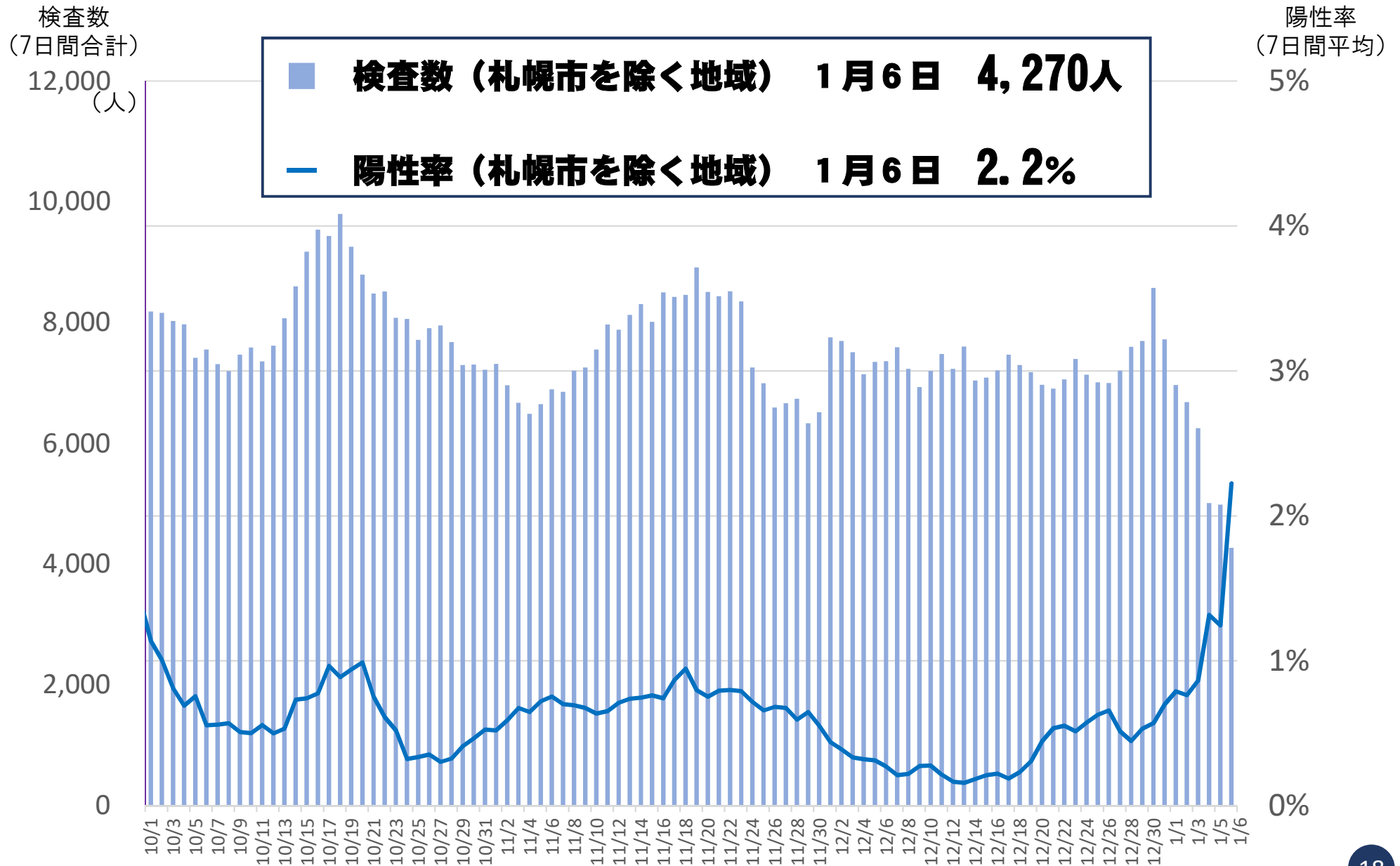
# 検査数と陽性率（全道）



# 検査数と陽性率（札幌市）



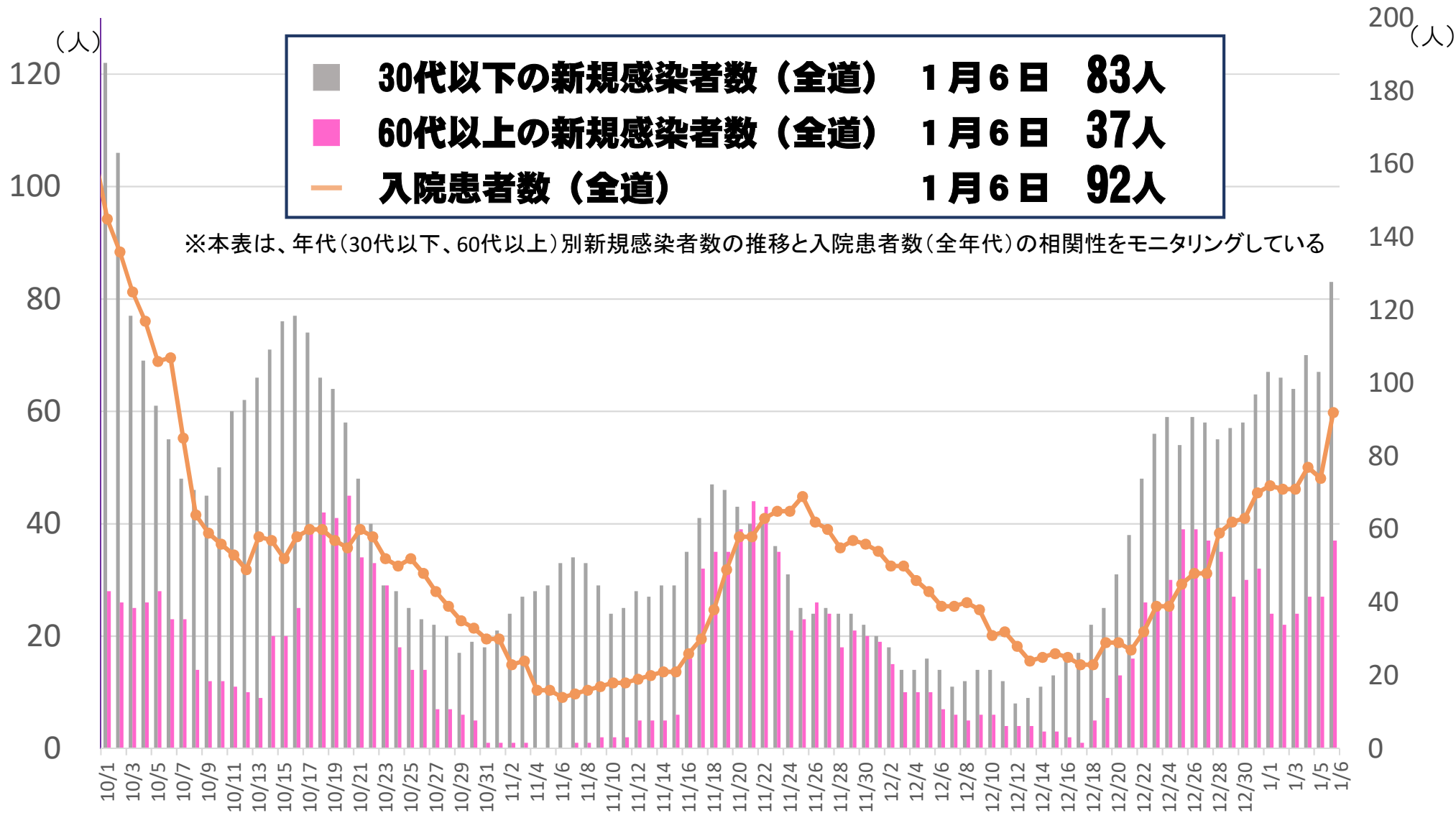
# 検査数と陽性率（札幌市を除く地域）



# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)

新規感染者数  
(7日間合計)

入院患者数

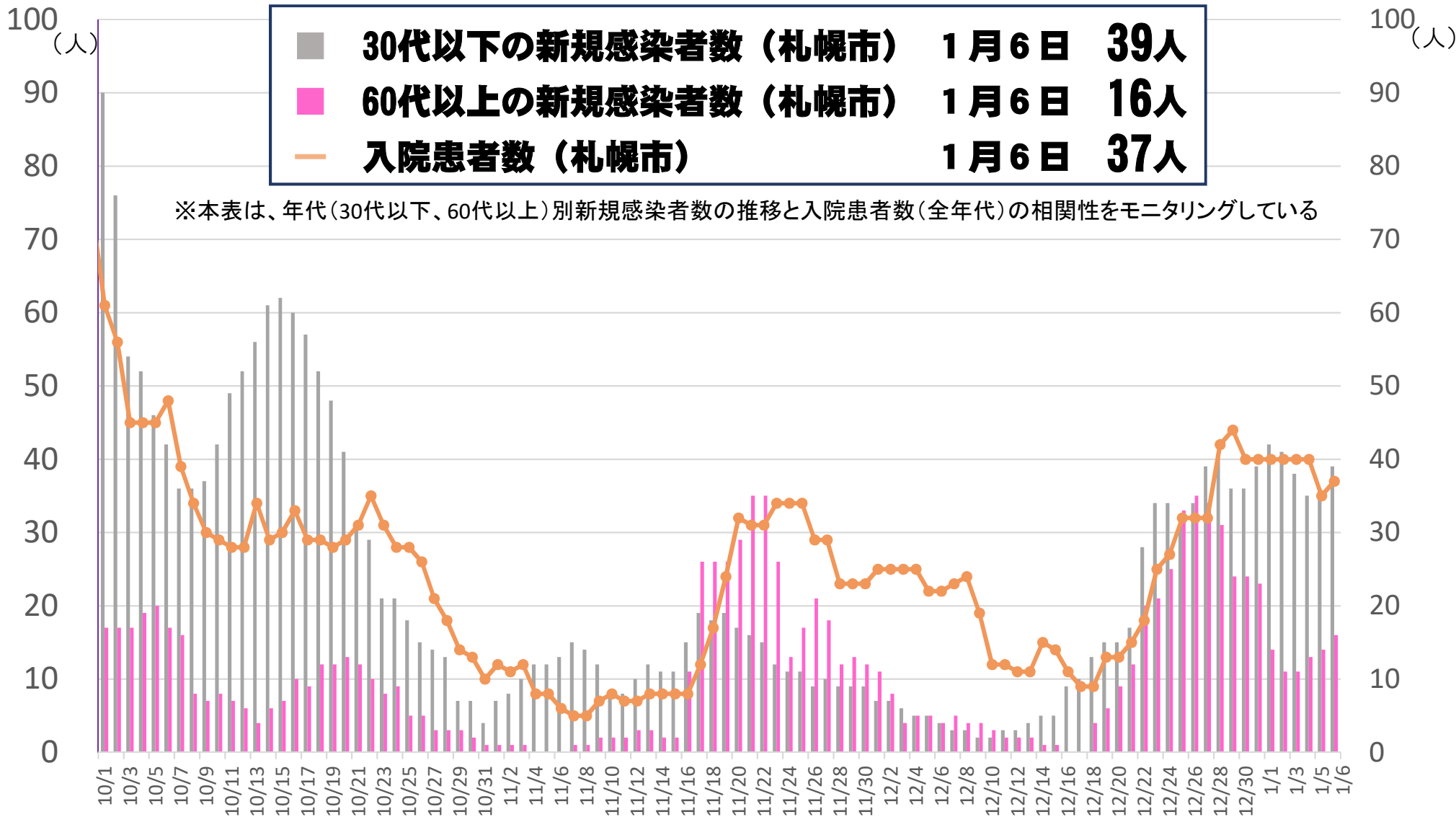


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)

新規感染者数  
(7日間合計)  
(人)

入院患者数  
(人)



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

# 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

新規感染者数  
(7日間合計)

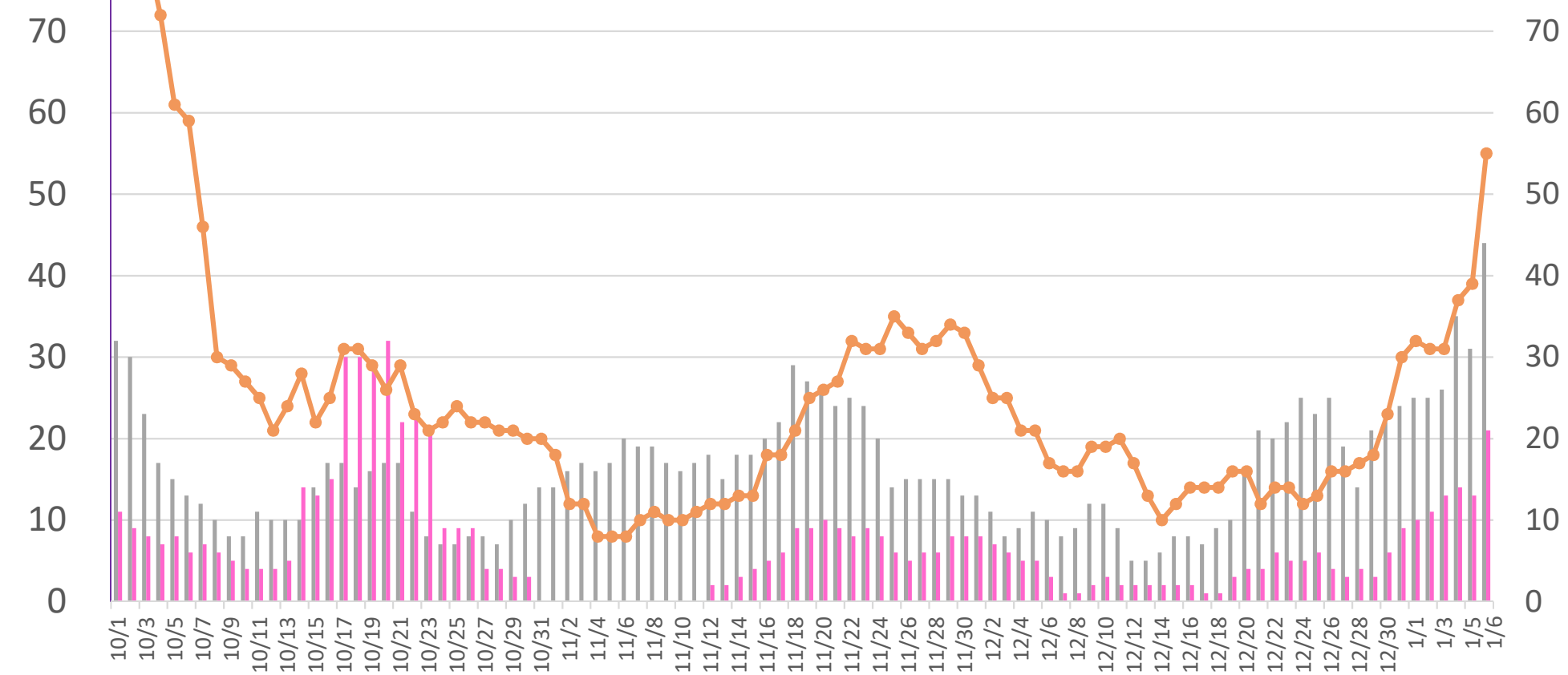
入院患者数

100  
(人)

100  
(人)

■	<b>30代以下の新規感染者数 (札幌市を除く地域)</b>	<b>1月6日</b>	<b>44人</b>
■	<b>60代以上の新規感染者数 (札幌市を除く地域)</b>	<b>1月6日</b>	<b>21人</b>
—	<b>入院患者数 (札幌市を除く地域)</b>	<b>1月6日</b>	<b>55人</b>

※本表は、年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数の推移と入院患者数(全年代)の相関性をモニタリングしている



(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

# 集団感染の発生状況(月別)

	11月			12月			1月(1/1~6)		
	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域
医療施設 福祉施設	2件 (81人)	1件 (72人)	1件 (9人)	5件 (117人)	4件 (111人)	1件 (6人)	1件 (24人)	—	1件 (24人)
事業所等	—	—	—	1件 (9人)	—	1件 (9人)	—	—	—
飲食店等	3件 (21人)	—	3件 (21人)	2件 (12人)	—	2件 (12人)	1件 (5人)	—	1件 (5人)
学 校	1件 (9人)	—	1件 (9人)	1件 (6人)	—	1件 (6人)	—	—	—
合 計	6件 (111人)	1件 (72人)	5件 (39人)	9件 (144人)	4件 (111人)	5件 (33人)	2件 (29人)	—	2件 (29人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

# 集団感染の発生状況(直近3週間)

	12/17~23			12/24~30			12/31~1/6		
	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域	全道	札幌市	札幌市を除く地域
医療施設 福祉施設	2件 (72人)	1件 (66人)	1件 (6人)	3件 (45人)	3件 (45人)	—	1件 (24人)	—	1件 (24人)
事業所等	1件 (9人)	—	1件 (9人)	—	—	—	—	—	—
飲食店等	—	—	—	1件 (7人)	—	1件 (7人)	2件 (10人)	—	2件 (10人)
学 校	—	—	—	1件 (6人)	—	1件 (6人)	—	—	—
合 計	3件 (81人)	1件 (66人)	2件 (15人)	5件 (58人)	3件 (45人)	2件 (13人)	3件 (34人)	—	3件 (34人)

※「飲食店等」には、接待を伴うもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。



# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

## 1 ワクチン接種状況について(医療従事者等分を含む。1/5現在)

### <初回(1・2回目)接種の状況>

区分	1回目		2回目	
	接種者数	接種率	接種者数	接種率
北海道	4,200,134	80.3%	4,127,725	78.9%
(参考) 全国	100,805,432	79.6%	99,231,400	78.3%

### <追加(3回目)接種の状況>

区分	3回目	
	接種者数	接種率
北海道	30,868	0.6%
(参考) 全国	709,100	0.6%

※接種率は令和3年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力職域接種分は含まない。また、初回接種における医療従事者等及び追加接種の全国分接種者数は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

# 新型コロナウイルスワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 2 追加(3回目)接種について

- 1月5日に、モデルナ社製ワクチン3回目第1クルの道内各市町村への配分を決定(市町村へ通知済)。また、昨年末に、国からモデルナ社製ワクチンの「緊急配送分」として約5千回分の追加配分があった(配送済)。なお、12月24日に、国が今年第一四半期(1~3月)にモデルナ社製ワクチン1,800万回分の追加購入を公表したが、都道府県毎の配分量や時期等は未定。  
道内では、これまで国から示された配分量に、初回(1・2回)接種の残余ワクチン(約40万回分)を含めると、追加購入分を除いても、2月までに約251万回分が確保され、これは、初回接種者の約6割超分に相当。

ファイザー社製				初回接種の残余ワクチン (ファイザー・モデルナ計)
① 11/15~27	② 12/13~26	③ 2/14~27	小計	
114箱 (約13万回分)	449箱 (約53万回分)	338箱 (約39万回分)	901箱 (約105万回分)	約40万回分
モデルナ社製(緊急配送分約5千回相当除く)				合計
① 1/24~	② 2/7~	③ 時期未定	小計	
4,792箱 (約72万回分)	2,287箱 (約34万回分)	国追加購入分 ( $\alpha$ )	7,079箱 + $\alpha$ (約106万回分 + $\alpha$ )	約251万回分 + $\alpha$

- 道としては、1月4日の岸田総理年頭会見において高齢者接種のさらなる前倒しについて言及されたことから、今後の動向を注視するとともに、優先的に接種を行うこととされた者への接種や、接種間隔の前倒し(短縮)対象の把握等について、市町村等と連携し、円滑な接種が進むよう取り組む。
- 職域追加接種については、12月13日から国において受付開始。道内では1月6日時点で52件の申請があった。本年3月以降の接種開始に向け、道としても、各種情報提供など実施企業等の支援に努める。

# 新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

## 3 その他初回(1・2回目)接種等について

- 追加(3回目)接種開始後も、新たに接種対象年齢となる方も含め、接種を希望される方については、本年9月30日まで初回接種が引き続き可能であり、今後とも、希望される方が円滑に接種を受けられるよう、市町村とも連携し取り組む。
- 職域接種会場や市町村の集団接種会場の運営終了に伴い、モデルナ社製ワクチンの2回目接種が困難となっている方等を対象に、三次医療圏毎に計6箇所、同社製ワクチンを接種できる医療機関を確保。また、アレルギー等によりmRNAワクチンを接種できない方等を対象に、アストラゼネカ社製ワクチンについて、道内で1箇所、札幌医科大学附属病院において接種が可能(2月末まで)。道では、「北海道モデルナ・アストラゼネカワクチン接種予約センター」を開設し、次のとおり予約受付や調整等を実施。

接種予約受付 電話番号	0800-500-6471(フリーダイヤル) ※聴覚障がいのある方等への対応として、電子メールでも受付。詳細は道庁HP参照。
受付時間	10:00-18:00(平日のみ)

- 12月20日から、デジタル庁の「新型コロナワクチン接種証明書アプリ」の運用が開始され、道内全市町村で当該アプリに対応済。  
今後、「ワクチン・検査パッケージ」等での利用も想定されるが、マイナンバーカード所持者は、簡単な手続きで、国内用/海外用の公的な接種証明を取得可能(※海外用の取得には、別途パスポートが必要)。